

# Ja-Net

October 2018 No. 87

季刊ジャネット

Ja-Net は Japanese Network の略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

Contents 目次

2018年10月25日発行

- View from the Other Side ..... 3  
安達アリスンさん(カナダ)
- あちこち日本語ご紹介〈国内編〉..... 4  
岡山県 総社市
- あちこち日本語ご紹介〈海外編〉..... 5  
アメリカ合衆国 ニューヨーク
- 教材紹介 ..... 6  
『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級3』  
『新完全マスター漢字 日本語能力試験N4』
- なんでも情報BOX..... 8

スリーイーネットワーク

巻頭

寄稿

## 人と人をつなぐ懸け橋として —地域日本語教育コーディネーターの役割—



岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授

中東 靖恵

### 総社市との出会い

#### —ブラジルがつかないだ不思議な縁—

2018年の今年、ハワイ日系移民150周年、ブラジル日本移民110周年を迎えました。かつて多くの日本人が海を渡り、今も世界各地に日系人が暮らしています。私の親戚は、今から100年前の1918年に広島からブラジルへ移住した日系移民で、サンパウロ州でコーヒー農園を営んでいました。

ブラジルに暮らす親戚の存在を偶然知ったのは15年ほど前のことです。ブラジルの親戚と会いたいと強く願うものの、情報はほとんどなく、半ば諦めていましたが、2009年の春、ブラジル広島文化センターの協力のもと、親戚を見つけ出し、奇跡的に出会うことができました。様々な偶然と、人との出会いに感謝するとともに、日本とブラジルをつなぐ懸け橋になりたいという気持ちが次第に強くなっていきました。

そして再び、偶然の出会いが訪れます。



1918年にブラジルへ移住した親戚

この年の冬、岡山県内で最もブラジル人が多く暮らす総社市から、日本語教室立ち上げに協力して欲しいと依頼が来たのです。私は日本語教育が専門ではないので当初はお断りしましたが、職員の方々の粘り強い説得と熱意に心動かされ、日本語教室の立ち

上げと運営に携わることになりました。

2010年度から現在に至るまで、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託し、運営委員兼コーディネーターとして9年目を迎えます。日本とブラジルの懸け橋になりたいという私の願いは、総社市との出会いによって叶えることができ、運命の不思議を感じています。

### 行政と取り組む総社市日本語教育事業

行政を事業主体とする「総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業」では、〈地域〉をキーワードに以下6つの取り組みを展開し、外国人住民の日本語教育を、地域住民同士の交流を通して、生活支援の一環として地域全体でサポートするシステムの構築とネットワーク作りを行っています。

- (1) 地域でつながる日本語教室
- (2) 地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修

- (3) 地域密着型日本語学習教材作成事業
- (4) 地域コミュニティ連携防災訓練事業
- (5) 地域ではぐくむ子育て応援事業
- (6) 地域で働く外国人就労者の日本語教育支援に関する調査研究事業

行政が日本語教育事業を直接運営することで、地域の生活情報・行政情報の提供が適切でスムーズに行えるだけでなく、外国人住民と日本人住民の交流を促進する場を創出することは、行政が主導すべき地域の多文化共生推進の基盤作りに直結します。

一方、行政には日本語教育や外国人支援の専門的知識や経験を持つ職員がいないため、日本語教育の現状・ニーズ把握、地域住民への教育的配慮、日本語教師や近隣地域の日本語教室との情報交換・交流活動、ネットワーク作りが円滑に行えず、事業の方向性を巡って、意見・見解の相違や軋轢を生み出すことにもつながります。

また、日本語教育事業には、行政だけでなく、自治会、NPO 団体、外国人コミュニティ、子育て支援団体、医療機関、企業など、立場の異なる多種多様な人たちが関わっています。事業に関わるすべての人たちの間を取り持ち、調整し、見解の相違を解消、円滑な関係作りを行うのが、コーディネーターである私の大きな役割です。

### 地域日本語教育に関する現状とニーズ把握

日本語教育事業を開始した当初は、様々な困難にぶつかりました。私は総社市民ではありませんし、日本語教育の専門家でもありません。しかし、幸いにも、近隣の日本語教育関係者から、教室見学や運営のノウハウについて助言を受けることができ、まずは地域日本語教育に関する現状とニーズ把握の必要性を強く感じ、市と協働して、以下の実態調査を行いました。

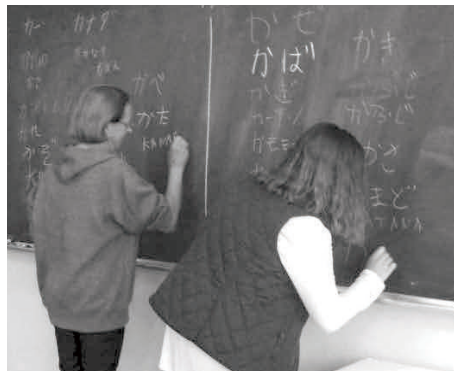
- (1) 総社市における南米系定住外国人の言語生活実態調査(平成 23 年度)
- (2) 総社市における多文化共生推進施策に関する意識調査(平成 27 年度)
- (3) 総社市における外国人就業者の日本語教育支援に関する調査(平成 29 年度)

実態調査を行うことで、これまで分からなかった現状やニーズの把握だけでなく、市民に対して、市の取り組みを周知することにもつながり、市民の方から温かいメッセージや励ましの声が多く寄せられました。

### 継続して楽しく日本語を学ぶために

外国人住民の多くは就労者であり、頻繁に日本語教室に通うことができず、年齢的にも生活環境の面からも、継続的に日本語を学習するのが難しいという大きな課題があります。そこで、日本語を積み上げ式に学ぶのではなく、「1 回完結型」の学習形態を採っています。学ぶ側にとっては「いつ来ても日本語教室に参加できる」という安心感があり、日本語学習の継続と、学習意欲の維持・向上につながっています。

教室活動の際には、ロールプレイによる会話練習やレリアの使用など、現実の生活場面により近い場を設け、コミュニケーションを重視した活動を行っています。また、「買い物ゲーム」や「日本語すごろく」など、日本語を楽しく学べる工夫を行うことで、教室にも活気が出ます。ある特定の文字から始まることばを集めて、2 チームでどちらが多く書けたかを競う「○から始まることばゲーム」は、特に好評です。



「か」から始まることばゲーム

### 地域住民同士がつながる場の創出

同じ地域に暮らしていても、外国人住民は日本人住民との近所付き合いも少なく、言葉の壁によって生活に必要な情報の入手も困難であり、社会から孤立しがちです。

総社市では日本語教室の一環として、市職員や連携機関による体験学習や講習会を行い、地域生活を営む上で不可欠な保健・医療・福祉・教育・防災等の情報を提供しています。日本語による情報提供だけでは不十分である場合も、体験学習により理解を促進できます。同時に外国人住民に対して、分かりやすく日本語で情報伝達する方法を実践的に学ぶ場にもなっています。

また、地域の祭りや国際交流イベント、子育て相談会や防災訓練への参加を通して、地域社会の住民として互いに「顔の見える」存在となるよう、日本語教室の外で



夏祭りに向けて総社市頭の練習。市職員が教えます

も顔を合わせ、住民同士の交流を促進する機会をできるだけ多く作るようにしています。

### 西日本豪雨を経験して

今年 7 月の豪雨により、総社市も大きな被害を受けました。ボランティアによる支援や他の自治体からの応援もあり、復興に向け少しずつ前進しています。

総社市には「被災外国人向けコールセンター」が開設され、総社市だけでなく、近隣地域で被災した外国人の支援にも当たりました。市が運営する日本語教室を開設していたことで、災害時においても外国人住民の把握が迅速に行えただけでなく、避難方法や支援物資の受け渡し等の情報提供をスムーズに行うことができました。

日本語教室を通じて行ってきた防災に関する知識や防災用語の学習、防災訓練への参加、そして何より、地域住民同士がつながる場として「顔の見える」関係づくりを行ってきたことは、少なからず外国人住民の不安を軽減することにつながったのではないかと思います。

これからも総社市との絆を大切に、「人と人をつなぐ懸け橋」として、地域日本語教育を通じた多文化共生のまちづくりのお手伝いをしていきたいと思っています。

### 中東 靖恵 (なかとう やすえ)

岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授  
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程退学

広島市出身。専門は社会言語学・日本語音声学。国内では主に山陽地方における方言の変容・継承について、海外ではブラジルを中心に、南米日系社会における移民言語としての日本語の変容・継承について調査研究。「パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容—パラグアイの広島県人家族を対象に—」『社会言語科学』13-2 (2011 年)で、第 11 回徳川宗賢賞(優秀賞)を受賞。

## 学習者の目

# View from the Other Side

このコラムでは、学習者の視点での話題をお届けします

## 10年越しの夢を叶え、故郷で日本語教師に

カナダの高校教員、安達アリスンさんに聞きました。

### —なぜ日本に留学しようと思ったのですか。

マニトバ大学の英文学・アジア学研究科で日本語を学んでいたとき、留学生センターでボランティアをしていた友人から「國學院大学へ1年間留学できるプログラムがある」と知らされました。日本語の上達と文化体験のため2007年に留学を決めました。

### —来日して、何か変わりましたか。

大の日本好きになり「日本語を教える仕事がしたい!」と強く思うようになりました。マニトバ大学の恩師にも背中を押され、真剣に日本語教師を目指すことにしました。留学を終えてカナダに戻った後は日本が恋しくて、日本に戻りたいと考える日々を過ごしました。逆ホームシックですね。大学卒業後は次の機会に備えて、アルバータ大学で1年間、日本語を磨きました。

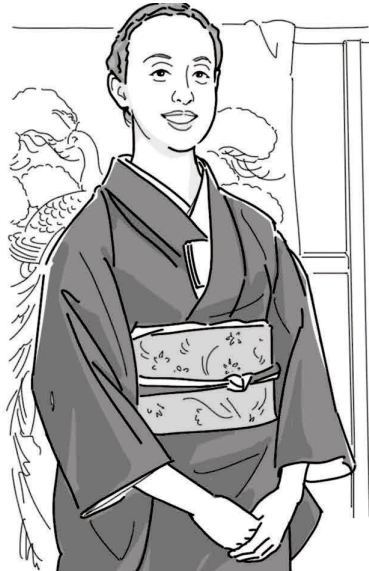
### —再来日のきっかけは何でしたか。

次の機会はすぐ訪れました。2010年にJETプログラムに採用され、大阪の小学校と中学校でALT(外国語指導助手)として英語の授業を担当することになったのです。小学校の先生と一緒に、英語を使ったいろいろなゲームを考えて活動的な英語学習にトライすることができました。その当時「いいな」と思った教案は今でも日本語指導に活用しています。

### —大阪に赴任が決まったときはどうお感じになりましたか。

「よし!」と思いました。標準語だけでなく関西方言にも触れてみたかったのです。クラスが騒がしくなると(低い声で)「静かにしいや」なんて言ってみたりして、関西弁で子どもたちとコミュニケーションしました。おかげで関西弁の語彙とアクセントが染みついてしまって、東京に移って標準語に戻すときには今の夫の厳しい指導に遭いました。

仕事で滞在することになったので「きつと敬語の勉強にもなる」という期待もありまし



### 安達アリスン(旧姓・ロクストン)

カナダ、マニトバ州ウィニベグ出身。1986年生まれ。國學院大学大学院で日本語教育・第二言語習得を専攻し、2015年修士号を取得。留学中に出会った安達裕陽土さんと2017年に神前式を挙げ改姓。現在は故郷ウィニベグで高校教員、日本語教師として活躍中。

たが、関西方言では「動詞+(て)はる」で大抵のことが丁寧に言い表せることがわかり、この魔法の言葉に頼ってしまって、敬語の勉強は思ったほどできませんでした。

### —休日には様々な日本文化体験をしたそうですね。

ろうけつ染め、藍染め、和紙すき、和菓子づくりや着付け、茶道などに挑戦しました。文化を学ぶだけでなく、「自分の日本語で体験がやり遂げられるかな?」というチャレンジでもあり、体を動かしながら言葉を学ぶような感じでした。特に着付けと茶道は、師匠にしっかり教わったので、授業での日本文化体験に取り入れています。

### —國學院大学大学院を卒業した後、マニトバ大学へ通い直したということですが。

大学院では非漢字圏学生の漢字習得について調査し、2015年に学位をとることができました。しかし、故郷の高校で日本語を

教えるには州の教員免許が必要で、マニトバ大学の教育学部へ更に2年間通い直すことになりました。今年、念願の教員免許を取得しましたが、日本語教師を目指しはじめてから10年が経っていました。

現在はマニトバ州の教育委員会に従い、病欠・産休・試験の採点などで授業ができない先生の代講を行う教員を務めています。私の専門は「日本語」と「英語(国語・第二言語)」ですが、カナダでは教員免許があれば、小学校から高校までのどの科目でも教えることができます。今は主に高校教員として働いていますが、教育委員会の指示があれば小学生に算数を教えに行くこともあり、中学生に歴史を教えに行くこともあります。初めての学校に行くときは緊張しますね。

教員免許と同時に、「課外授業を開講し、高校の卒業単位として認定する資格」も取りました。今はこの資格を活用し、マニトバ文化会館で高校生向けの日本語教室を開いています。

### —長年の夢が叶って、感想はいかがですか。

「最高!」です。新しい知識を吸収して上達していく教え子たちを見るのは幸せです。先生になって、10年間の努力が報われた気持ちになりましたが、生徒たちを見ていると、よりよい授業を行うため努力を続けなければいけないと励みになります。

### —今後の目標を教えてください。

故郷ウィニベグで、日本語を学べる場を増やしたいです。ウィニベグには正課の授業で日本語を教えている高校は3校しかありません。その他に1校、日本文化を学べる高校があるのですが、まずはここで日本語を正課として設置してもらえないか、はたらきかけたいと思っています。ウィニベグは行動力さえあれば、いろいろなことが実現できる街です。将来は日本語や着付け、茶道などを学べる学校を作りたいですね。



日本語ご紹介

国内編

岡山県 総社市



## 地域住民同士がつながる場へー「顔の見える」関係づくりー

総社市日本語教育事業 運営委員兼コーディネーター

中東 靖恵

総社市人権・まちづくり課 国際・交流推進係 係長

河原 睦弘

総社市は岡山県南西部に位置し、温暖で豊かな自然に恵まれ、古代吉備国の中心として栄えた歴史ある地域です。現在、人口約 6.9 万人のうち、外国籍の市民は約 1,300 人(約 1.9%)です。国籍別では、ベトナム、ブラジル、中国が多く、近年はベトナム人の技能実習生が急増しています。

### 行政が取り組む日本語教室開設の背景

市内には自動車部品工場が集積した地域があり、平成 2 年の入管法改正以後、ブラジル人、ペルー人をはじめ多くの外国人が雇用されました。平成 20 年秋の経済危機により、外国人が大量に解雇されるという危機的状況を受け、翌年、人権・まちづくり課内に国際・交流推進係が新設され、多文化共生施策に重点的に取り組み始めました。

外国人支援を始めた当初、その多くは行政窓口でのコミュニケーション支援でした。市に多く住んでいた南米系の外国人は派遣会社の通訳に頼って生活しており、窓口で日本語を問題なく話せる人はごくわずかでした。そのような中、日本語教室の開設を望む声が多く寄せられるようになりました。

平成 22 年度から現在まで、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業」を受託し、市を事業主体とする日本語教室を開設・運営しています。

### 「地域でつながる日本語教室」

日本語教室は日曜日 9:30 ～ 11:30、総社市役所内の施設で年間 30 回開講しています。

外国人住民が、日本人住民との交流を通して、日本で生活の円滑に行うために必要な日本語コミュニケーション能力の向上を図りながら、地域の生活情報や行政情報を得るとともに、外国人住民が地域社会の一員として積極的に参加できるよう、「地域住民同士がつながる場」を提供することを目的としています。受講料は無料です。

教室に参加する外国人も日本人も、子育て NPO との連携により、無料で託児を利用することができます。安心して子供を預けることが出来るため、日本語の勉強に集中することができ、子供たちの集まる託児室は自然と国際交流の場となっています。

### 地域社会での生活に必要な日本語の習得

受講対象者は成人の外国人住民で、母語は問いませんが、日常会話すらままならない「ゼロ初級レベル」を対象としています。総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム(30 単位)と学習シラバスに基づき、地域社会での日常生活に必要な日本語を学びます。ロールプレイやゲームを活用し、実践的で、かつ、楽しく飽きない工夫をしています。

また、庁内部署・県内団体との連携により、ゴミ分別講習、交通安全講習、防犯講習、防災・消火訓練、病院での受診体験、書道・茶道講座など、様々な体験学習を通して、



交通政策課職員による交通安全講習

生活情報・行政情報の提供を行っています。

### 「顔の見える」関係づくり

日本語指導にあたるのは経験豊富な有資格者の日本語教師ですが、教室には「日本語学習サポーター」として地域の日本人住民がボランティアで参加しています。日本語のモデル発話やペア練習の相手、ロールプレイの見本などを行い、外国人住民の日本語



学習をきめ細かにサポートします。

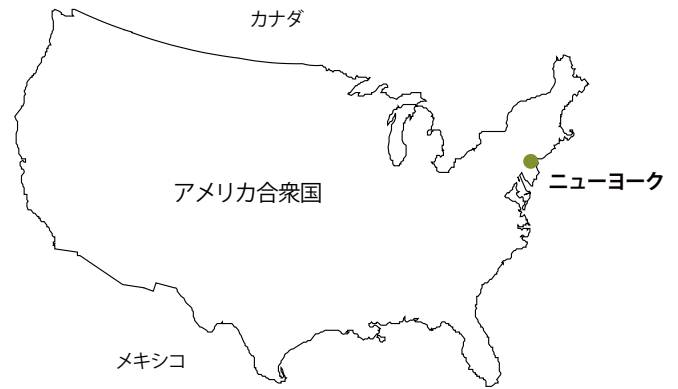
日本人住民がサポーターとして参加することで、地域の身近な生活情報が入手でき、方言まじりの生きた日本語との接触も生まれます。日本語教室が、地域住民同士の交流を促進し、「顔の見える」関係づくりの場として機能するだけでなく、日本人住民が外国人支援を実践的に学ぶ場となり、多文化共生意識の啓発・醸成にもつながります。

日本語教室が、外国人住民の自立と社会参加を支援する基盤システムとしての役割を果たしていくためにも、地域連携による安定的・継続的なネットワークづくりが重要だと考えています。



## 海外編

アメリカ合衆国 ニューヨーク



# 過去・現在・未来を繋ぐ日本語教育

コロンビア大学 東アジア言語文化学部 日本語学科 常勤講師

ロチャーター・松井恭子

### 歴史と伝統

コロンビア大学は1754年に創立された、全米で5番目に古い大学です。多様性を尊重し、グローバル市民として幅広い教養を備え、社会に貢献できる人材の育成を教育理念としています。日本語学科が所属する東アジア言語文化学部は1901年に設立され、日本文学・日本文化研究の第一人者であるドナルド・キーン名誉教授をはじめ、日本研究における著名な学者達を輩出してきた伝統と歴史のある研究学部です。



日本語3年生の授業風景。学生達はみな熱心で、活発に質問があがります

### 現在の日本語学習者事情

ここ数年日本語を履修する学生の総数は毎学期250名前後で、その内の約25%を東アジア言語文化専攻の大学院生及び学部生が占めています。殊に、日本関連の博士課程に在籍する学生の場合、5年の日本語学習が必須となっており、研究文献が読める高い日本語能力の習得が必要とされています。一方、残りの75%の履修者の背景及び学習動機は、年々多様化しています。

履修者の母語には欧米やアジア圏の言語に加え、アラビア語やロシア語等、様々な言語が見られます。専攻は、人文・社会科学

に加え、コンピューター工学や数学等、理工系の学生数が大幅に増えています。学習動機も、従来のコミュニケーション能力の習得や就職のため、といったものに加え、日本文化、特にポップカルチャーへの興味などが増えています。従って、研究者を育てるという伝統を守りつつ、多様化する学習者のニーズをも満たし、更にグローバル市民の育成という大学の理念にも沿うカリキュラムが必要となります。

### 日本語学科のカリキュラム及び学習状況

前述のようなニーズを満たすため、当日本語学科では、1年生(初級)から5年生(超級)まで一貫してリテラシーを育てることを目標に、カリキュラムを編成しています。テキスト(社会的コンテキストの中で目的と機能を持ち、意味を作り出すもの)を重視し、視覚・聴覚表現を含む多様な様式のテキスト、異なる機能を持つ幅広いジャンルのテキストを使用します。そして、テキストの持つ意味内容を四技能を使ってクリティカルに判断し、それによって得た知識を基に、新しいテキストを創出できる力の育成を目指します。



1897年に建てられたロウ・ライブラリー。歴史を感じさせる大学のシンボルのひとつ

1年生と2年生前半では『みんなの日本語』を主教材にし、付属の読解用副教材や生教材も使用します。2年生後半では我々が開発した内容ベースの『飛躍』という教科書を、3年生から5年生は生教材を使用しています。カリキュラムに統一性・一貫性を持たせるため、初級から超級に向けて、身近で具体的なトピック・ジャンルから、徐々に社会的で抽象的なものへと移行していくよう、テキストを選びます。そして、選んだテキストのジャンルのディスコースを習得できるようタスク活動をデザインしています。

また各学年では、リテラシーを育てるのを助けるために、初級から様々なプロジェクトを行っています。1年生ではブログを通して日本の大学生と交流をしています。2年生ではナラティブを学ぶための音読プロジェクトを行い、創作紙芝居をYouTubeで配信しています。3年生では、画像と組み合わせたcreative writingをしています。4年生では、社会問題を分析し、その解決方法を考え実践するという社会参加型プロジェクトを行っています。5年生では、種々の分野での専門的な読み物や学術論文等をクリティカルに読んだ後、学生の専門分野に関する論文を書いています。当学科の3年生レベルには、Scholarly Readingという大学院生対象のコースもあり、各専門分野の読み物を精読して、高いリテラシーを育てるのを助けています。

### 未来へ向けて

当日本語学科は、言語学習を単なるコミュニケーションツールの獲得としてではなく、多様化する世界において学生達がそれぞれの目的のもとに社会活動を行うためのリテラシー教育と捉え、今後も良き伝統を守りつつ、未来を担う人材の育成に努めていく所存です。

# 教材紹介

## 『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級3』

にほんごの会企業組合・宿谷和子・天坊千明・森桂子 著  
B5判 239頁 2,400円+税



### 地域の学習者のニーズに合わせて多様な使い方を

にほんごの会企業組合 宿谷和子

#### この本が生まれた経緯

この本は地域の日本語教室で学ぶ初級後半以降の学習者のための教科書です。

地域の日本語教室には、一旦は仕事などで日本語教室を離れ、また学びに戻ってきた学習者、日本語学校や大学で勉強しながらも会話の機会を求めてやってくる学習者、初級の学習を終えたあとも学び続ける学習者などが大勢通ってきます。日本に定住、また長期滞在している人もいます。彼らの声を聞いてみると、「もっと勉強したい」「日本の生活でわからないことがたくさんあるが、聞く人がいない」「文法は勉強したけれど、しゃべれない」などいろいろです。また初級後半からの学習者のための教材に悩む支援者の声もよく聞かれます。この本は、そのような声を受けて『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室 初級1』『同 初級2』の続編として、生まれました。

#### 本書の特長

- (1) この本は初級後半の文型中心の教科書です。週1、2回の限られた時間しかない地域の日本語教室で無理なく学べるように、文型は数を抑えて生活場面でよく使われるものを選びました。一方、これまでの教科書ではあまり扱われなかった話しことは意識的に取り入れました。
- (2) 場面やトピックは、学習者が実際の生活で出会ったり、支援者といっしょに考えたりできるものを考えました。支援者とのおしゃべりやいろいろな活動を通して「日本語を使ってできること」を意識化してもらうことも一つの狙いです。支援者とともに話し合いながら、生活に必要な情報が得られるような工夫もしました。
- (3) 本書のトピックに合わせて、補助教材のプラスα「暮らしのにほんご」をスリーエーネットワークのウェブサイト (<http://www.3anet.co.jp/ja/6551/>) で公開しています。地域の日本語教室の初級後半以降の学習者のレベルは様々です。文型学習にとどまらない多様な学習ができるよう、必要に応じて使えるようになっています。

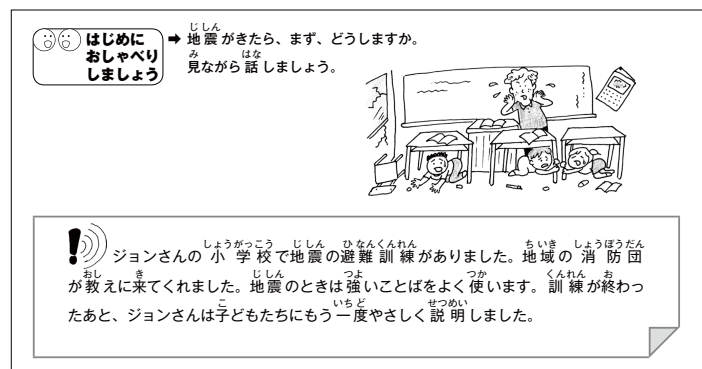
#### 本書の構成

- (1) 41課～60課までの20課と文字学習からなります。課の学習と平行して、漢字を学ぶようになっています。
- (2) 巻末には「文法のまとめ」や「初級2」の学習漢字である「かん

じ80』の一覧表を載せてあります。初級前半の文法や漢字もここで確認することができます。

- (3) 表紙の裏には「場面とことば」をイラストと吹き出しで載せました。後ろの「漢字105」は、学習目標を意識し、また今知っている漢字を確認するのにも役立ちます。

#### 各課の構成と使い方

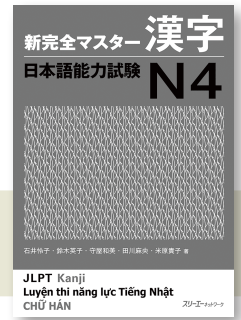


- (1) 「はじめにおしゃべりしましょう」: 気楽なおしゃべりを通して、その課で学習する内容のイメージを作ります。
- (2) 囲みのなかの文章: 登場人物の状況や場面を説明した短いストーリーで、学習文型の導入のきっかけになります。また学習者が文章を読む練習にもなります。
- (3) 学習文型「れいぶん」「れんしゅう」「はなしまししょう」: 各課に2～4程度の学習文型があります。「れいぶん」や「れんしゅう」などは、文型ごとに授業の流れに沿った順に並んでいます。「はなしまししょう」ではその学習内容に合った話題でおしゃべりをします。
- (4) 「かつどう」: 話すだけでなく、音声を聞いたり、自分のことを書いたり、文章を読んだりなど、四技能を使ったいろいろな活動があります。
- (5) 「かいわ」: 課の最後にその課で学習した文型を取り入れた会話があります。音声はウェブサイトで聞くことができます。

地域の学習者のニーズは学習レベルが上がるにつれて、多様になります。この本も学習者や、学習するグループやクラスに合わせて、多様な使い方をしていただきたい、そして学習者とともに本も育てていただきたいと心から願っています。

# 『新完全マスター漢字 日本語能力試験N4』

石井怜子・鈴木英子・守屋和美・田川麻央・米原貴子 著  
B5判 95頁 別冊19頁(予定) 1,200円+税 11月発売予定



石井怜子

本書は、日本語能力試験N4の合格を目指す学習者を対象とした教材です。日常生活の「読む」場面で、漢字でできた言葉(漢字語)が入ったメモ、チラシ、メールなどのテキスト(注)を読みながら漢字を学びます。N4レベルまでの漢字301字(「々」を含む)のうち、N5レベルを除いた278字の漢字とその読み方、及び186字の書き方を、全15回の実力養成編で勉強します。最後に日本語能力試験形式の実力テストがついています。

実力養成編は1回が(1)(2)の2つに分かれています。各回では平均13~14字の漢字の読み方、6字前後の書き方を学習します。数回ごとにある「まとめましょう」では、復習しつつ運用力をつけます。1回を3~4日、「まとめましょう」を2日で勉強すると、約3~4か月で終わります。

以下、実力養成編の内容と学習の進め方をご紹介します。

## 各回：リストで漢字語を確認。テキストの中で声を出して読む。

(1)(2)はそれぞれ見開き2ページで、冒頭Iが「読む」テキストです。学習する漢字と読みが全て入っており、どういう状況でこれを読むのかを、タイトルとイラストで示しています。

右ページ下の漢字とその読み方のリストには、Iで読むターゲットの漢字語が載っています。N4レベルの語には、英語とベトナム語の訳がついています。このリストで読み方と意味を確認したら、Iのテキスト全体を声を出して読みましょう。漢字語が読めるのは、その語の「発音、表記の形、意味、使い方」を知っているからです。文の中で発音と表記の形、意味をしっかりと結び付けることが大切です。

続けて、筆順と書く練習(II)、漢字語を書く練習(III)があります。リストには、Iで取り上げた語以外の、その漢字を使ってできる漢字語も載せており、N4レベルで学ぶべき漢字語を広げることができます。これらも、IV以降で取り上げて練習します。

## 「まとめましょう」：複数の読み方を整理。運用力をつける。

本書は、原則として1漢字についてその回では1つの読み方を学習するように

なっています。しかし、漢字の難関の1つは「複数の読み方があること」です。また、漢字の運用力、応用力をつけるには、漢字語から一歩進んで、語の構成部分としての漢字の役割も知る必要があります。

「まとめましょう」では、語を構成する部分としての漢字を意識して運用する問題や、複数の読み方や変則的な読み方(音が変化する語)を整理したリストと問題で、N3以降につながる漢字力を養います。また、日本語能力試験形式の問題で、細かい部分にも注意が払えるようにしています。

## グエンさん一家と一緒に、「読む」ことを体験しながら学習する。

本書は、来日したグエンさん一家が生活のさまざまな場面で遭遇するメモ、チラシ、メールなどのテキストを読みながら、漢字語と漢字を学習するというストーリー仕立てになっています。グエンさん一家の一員になった気持ちでテキストを読み、学習を進めていただけたらと願っています。

グエンさん一家がどんなテキストを読むのか、そしてどのように生活を広げていくのかは、ぜひ本書をお手に取ってご覧ください。

(注)いわゆる文章だけでなく、文字によって情報が提供されるものをテキストと呼んでいます。

**I**

第1回 グエンさんたちは、引っ越しました。

(1) さくら駅へ来ました。  
They came to Sakura station.  
Đi đến ga Sakura.

I 声を出して読みましょう。

グエン・バオ様

●新しい。住所：ふじ市・さくら区・みどり町5-1  
はるかぜマンション302  
マンションの管理人は、田中さんです。

マンションの行き方  
●さくら駅の出口に、出てください。タクシーの乗り場があります。タクシーに、乗ると、5分くらいです。●歩いて、行くときは、駅の道の道をまっすぐ、行ってください。

総務課 川中

管理人: Caretaker: Ngươi quản lý 総務課: General Affairs Section Phóng sóng vtv

II 漢字の書き方を勉強しましょう。

住	ノ	イ	イ	イ	住	住	
所	ヲ	ヨ	リ	所	所	所	
市	ノ	イ	市	市	市	市	
行	ノ	イ	行	行	行	行	
方	ノ	イ	方	方	方	方	
出	ノ	イ	出	出	出	出	
前	ノ	イ	前	前	前	前	

III 漢字に漢字を書きましょう。

例) 今は、八月です。 ①田中さんの \_\_\_\_\_ を知っていますか。  
ほちがつ じゅうしよ

**リスト**

②いつも、8時5分 \_\_\_\_\_ に家を \_\_\_\_\_ ます。  
まえ ます

③ここから、ふじ \_\_\_\_\_ までの \_\_\_\_\_ き \_\_\_\_\_ を調べました。  
ふじし いきます

IV ( ) に読み方を書きましょう。

例) エマさんは、フランス人 \_\_\_\_\_ です。 ①映画館の \_\_\_\_\_ 出口の \_\_\_\_\_ 前で \_\_\_\_\_ 会います。  
(フランス人) ( ) ( )

②バスに \_\_\_\_\_ 乗って、この \_\_\_\_\_ 場所へ \_\_\_\_\_ 行きます。 ③あの \_\_\_\_\_ 方は \_\_\_\_\_ 日本人ですか。  
( ) ( ) ( ) ( )

V 正しいものを選びましょう。

例) 今日は、一日 (a) (b) (c) (d) (e) (f) (g) (h) (i) (j) (k) (l) (m) (n) (o) (p) (q) (r) (s) (t) (u) (v) (w) (x) (y) (z) です。

①山の \_\_\_\_\_ みち (a) 道 (b) 道 (c) 道 を \_\_\_\_\_ あった (a) 歩いた (b) 歩いた、

② \_\_\_\_\_ 新しい (a) あたらしい (b) あたらしい (c) えき (a) 駅 (b) 駅 (c) 駅 が \_\_\_\_\_ できた。

③彼の家は、ふじ市の \_\_\_\_\_ びがしく (a) 東区 (b) 東区 (c) 東区 になります。

漢字	漢字	読み方	ほかの読み	漢字	漢字	読み方	ほかの読み
新	新	あらた		駅	駅	エキ	駅
住	住	ジュウ		東	東	ヒガシ	東
所	所	ショ		出	出	デ	出
市	市	シ		乗	乗	ノリ	乗
行	行	コウ		場	場	バ	場
区	区	ク		歩	歩	アヒ	歩
町	町	チョウ		駅	駅	エキ	駅
田	田	デン		道	道	ミチ	道
行	行	コウ		道	道	ミチ	道
方	方	ホウ					

住所 Address Dô chi ~市 City (administrative unit) Thành phố ~区 Ward, district (of a city, etc.) Quận ~町 (also administrative unit) Thị trấn ~道 Method, way (of doing something) Cách ~駅 Train station (station) Cửa ga Đàng 乗り場 Waiting area, (bus stop, taxi stand) Điểm dừng ~場 (At) Place, scene Hài trường ~場所 Place, venue Địa điểm



# なんでも情報 BOX

## Books ほん

すべて本体価格です

新完全マスター漢字 日本語能力試験N4

11月発行予定 1,200円

ことばでおぼえる やさしい漢字ワーク 初級2-日本語初級2 大地準拠- 11月発行予定 1,200円

## Seminars セミナー

### 『みんなの日本語』20周年記念セミナー

おかげさまで、『みんなの日本語』は今年発行20周年を迎えました。日頃のご愛顧に感謝申し上げます。これを記念し、以下の通りセミナーを開催いたします。ぜひこの機会にお申込みください。

#### 大阪・第1回・第2回

##### 『みんなの日本語 初級』を使った基本的な教え方

[日本語教授歴3年未満の方向け・講義]

講師：田中よね（『みんなの日本語』執筆協力者）

日時：第1回：12月15日（土）10：00～12：30

（9：30 受付開始）

第2回：12月15日（土）14：00～16：30

（13：30 受付開始）

\*内容は第1回と同じ

会場：ハートンホール日本生命御堂筋ビル 12F（大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル 12F）

定員：各回70名

持ち物：『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』『同初級II』

#### 大阪・第3回

##### コミュニケーション力につながる初級の指導法

—『みんなの日本語』を使って—

[日本語教授歴3年以上の方向け・ワークショップ]

講師：友松悦子（元拓殖大学留学生別科非常勤講師、

現在地域日本語教室主宰（東京都練馬区））

日時：12月16日（日）14：00～16：30

（13：30 受付開始）

\*内容は東京・第4回と同じ

会場：ハートンホール日本生命御堂筋ビル 12F（大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル 12F）

定員：70名

持ち物：『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』『同初級II』

#### 東京・第1回

##### 『みんなの日本語 初級1 第2版』を使った基本的な授業の進め方

[日本語教授歴3年未満の方向け・講義]

講師：石澤弘子（元目白大学教授）

日時：2019年1月19日（土）14：00～16：30

（13：30 受付開始）

会場：弘済会館4階 会議室「菊」（東京都千代田区麹町5-1）

定員：100名

持ち物：『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』

『みんなの日本語 初級1 第2版 翻訳・文法解説』（言語は問いません）

#### 東京・第2回

##### 『みんなの日本語』を使った初級の基本的な教え方

[日本語教授歴3年未満の方向け・ワークショップ]

（事前課題あり・課題は参加者の方に別途お知らせします）

講師：一条初枝（ヨシダ日本語学院校長）他

日時：2019年2月16日（土）14：00～16：30

（13：30 受付開始）

会場：弘済会館4階 会議室「菊」（東京都千代田区麹町5-1）

定員：60名

持ち物：『みんなの日本語 初級 第2版 本冊』

#### 東京・第3回

##### 文型シラバスと言語活動

—学習者が「日本語を使ってできる」力を育てる教科書の使い方を考える—

[日本語教授歴3年以上の方向け・ワークショップ]

講師：西川寛之（明海大学外国語学部准教授）

日時：2019年2月23日（土）14：00～16：30

（13：30 受付開始）

会場：弘済会館4階 会議室「菊」（東京都千代田区麹町5-1）

定員：60名

持ち物：『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』『同初級II』

#### 東京・第4回

##### コミュニケーション力につながる初級の指導法

—『みんなの日本語』を使って—

[日本語教授歴3年以上の方向け・ワークショップ]

講師：友松悦子（元拓殖大学留学生別科非常勤講師、

現在地域日本語教室主宰（東京都練馬区））

日時：2019年3月9日（土）14：00～16：30

（13：30 受付開始）

\*内容は大阪・第3回と同じ

会場：弘済会館4階 会議室「菊」（東京都千代田区麹町5-1）

定員：60名

持ち物：『みんなの日本語 初級1 第2版 本冊』『同初級II』

#### 申込み方法

ウェブサイト、またはFAX、はがきにてお申込みください。お電話でのお申込みは受け付けておりません。お申込みの数が定員を超えた場合、抽選とさせていただきます。各会場の申込み締切2、3日後に、ご参加可否および参加に関する詳細を

ご連絡致します。

申込み締切：大阪会場 11月19日（月）

東京会場 12月20日（木）

申込み先：URL：<http://bit.ly/Minna20th>

FAX：03-5275-2729

〒102-0083 東京都千代田区麹町

3-4 トラスティ麹町ビル2F

\*ウェブサイトからのお申込みには

Google フォームを使用します。お

申込みの際に入力したアドレス宛

にメールが届き、お申込み完了となります。受信制限をされている方は「受付完了」(forms-receipts-noreply@google.com)、「抽選結果」(kouza@3anet.co.jp)のメールが受け取れるように設定をお願い致します。

\*FAX、はがきでお申込みの際は、セミナー名（例 東京 第1回）・お名前・ご所属・ご住所・お電話番号、及び日本語教授歴・この講座に期待することを明記してください。

参加費：無料

問合せ：TEL 03-5275-2722

（スリーエーネットワーク講座係）

\*講義やワークショップの様子を撮影し、当社ウェブサイトで公開する予定がございます。その旨をご了承の上、お申込みください。

主催：スリーエーネットワーク

## Ja-Net | No. 87 季刊ジャネット

スリーエーネットワークという社名は、アジア（Asia）、アフリカ（Africa）、ラテン・アメリカ（Latin America）の三つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2018年10月25日発行

●発行人 藤崎政子

●発行所 (株)スリーエーネットワーク

Ja-Net 編集室

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-4

トラスティ麹町ビル2F

TEL：03-5275-2722 FAX：03-5275-2729

E-mail：sales@3anet.co.jp

<http://www.3anet.co.jp/>

●印刷 (株)ワコー

©2018 by 3A Corporation Printed in Japan

（禁無断転載）

●『Ja-Net』をご希望の方はお名前・ご住所・ご所属を編集室までお知らせください。無料でお送りいたします。『Ja-Net』第88号は2019年1月25日発行予定です。

